

地区活動の紹介

4地区の消費生活推進員の活動をピックアップして紹介します。この他にも各地区で様々な活動をしています。

東戸塚地区

「地域に根差した活動」

令和元年8月31日、残暑厳しい中でしたが、地元のプロducer農家の方のご協力を得て、地域の高齢者の方々と共に梨狩りを行いました。ちょうどブドウや夏野菜の収穫時期とも重なり、両手に抱えきれないほどのナス、ピーマン、シシトウそしてブドウも収穫させていただき、生産者の方々のご苦労を知る有意義な一日となりました。

更に9月14日には品濃町自治会の敬老会で啓発活動の一環として、高齢者を対象にした「悪質商法の被害防止対策」を紙芝居とクイズ形式で紹介しました。食後間もない時間にもかかわらず皆さん真剣に参加してください、こうした活動の重要性を再認識するに至りました。



大正地区

ファンケルスマイル工場見学

清潔で広々とした工場に響く「おはようございます」の挨拶で始まった、ファンケルスマイルの工場見学。他所で作られた商品サンプル類の仕分け、分類、袋詰めを主としている会社でした。障害者の方々60名を中心に、ひとつひとつ正確にチェックされる様子を見学することができました。何より工場で働く皆さんが、元気に明るく、生き生きと働いている姿に心あたたまりました。消費生活推進員含む27名、有意義な工場見学となりました。



名瀬地区

一年間の活動

名瀬地区では、「消費者トラブルの未然防止に向けて」のステップアップ研修を受け、その内容を名瀬地区連合だよりに掲載しました。また、毎月各町内会に「よこはま暮らしナビ」の配布を行うなど、悪質商法等の被害にあわないための啓発活動を行っています。

消費生活推進員の皆さんで10月25日に鎌倉ハムの工場見学に行き、身近な食品の生産過程について学んで推進員同士の交流を深めました。



吉田矢部地区

一年間の活動

吉田矢部地区では、高齢者見守りの「さくらんぼサロン」に年に6回参加しています。ここでは、「悪質商法」に関する紙芝居やクイズなどのクイズなどを実施して、地区の皆さんに喜んでいただいています。

また、施設見学では、戸塚第三地区と合同で、7月11日に麒麟ビール横浜工場を見学しました。ビールができる工程を分かりやすくスライドで説明されていました。こだわりの製法やうまさの秘密を体感し、ビールの魅力が存分に味わえる見学会でした。そのほかにも、環境にやさしい取組をしていることも学びました。



代表挨拶

日頃から消費生活推進員の活動にご協力いただきありがとうございます。今年度は、地区代表会議で悪質商法未然防止と食品ロス削減をメインテーマに設定し、施設見学や講演会、戸塚ふれあい区民まつり、消費生活展など、様々な活動に取り組みました。また、各地区では引き続き紙芝居を使った啓発活動や、見守り活動を活発に行っています。来年度も地域により良い影響を与えていけるよう活動していきます。

代表：猪口英子(中央) 副代表：本多寛人(左)・五ヶ谷良子(右)

とっか消費生活推進員だより

～悪質商法未然防止／食品ロス削減～

第30号

発行日：令和2年3月31日

発行者 戸塚区消費生活推進員の会
広報編集班

事務局 戸塚区役所地域振興課

電話 045-866-8416

消費生活推進員って？

地域における安全で快適な消費生活を推進するため、市長からの委嘱を受けて「消費者トラブルに遭わない安全な地域づくり」を目指して活動しています。戸塚区では、自治会町内会の推薦で集まった約160名が活動しています。

1 研修会で知識を身につける

市や区役所で開催する研修や講座の他、消費生活推進員が企画する講演会で、消費生活の知識などを学びます。

2 悪質商法未然防止など啓発講座を開く

各地区で、高齢者のための給食会や、PTAなどの集まりで紙芝居やビデオ講座を開きます。

3 地域の高齢者などの見守り

地域の高齢者への声掛けや、見守り活動に参加し、消費者トラブルを未然に防止したり、相談役になります。

4 情報発信・広報活動

地区活動や消費生活の情報を、戸塚ふれあい区民まつり・消費生活展などへの参加や、情報紙を発行してお知らせします。

5 環境にやさしい取組、事業者との意見交換

環境配慮の学習会、施設見学、メーカーとの意見交換などを通して、知識を深め情報を伝えます。

今年度、各地区の代表・副代表が会議をして行う区活動では、**悪質商法未然防止と食品ロス削減**を重点テーマに活動しました。

かしこ
YOKOHAMA
©YUKI ISHII



困ったら、**い や や !**
全国共通電話番号 **188** へ相談(市外局番なし)
最寄りの消費生活相談窓口へつながります。

●横浜市消費生活総合センター 〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1
ゆめおおおかオフィスタワー 4F・5F

相談専用電話：045-845-6666(平日9:00～18:00／土・日9:00～16:45)
ホームページ：<http://www.yokohama-consumer.or.jp>

安全で快適な暮らしを実現するために、横浜市消費生活総合センターは、消費生活の啓発、相談及び苦情処理等を実施し、市民の安全な消費生活の実現に寄与するための拠点施設です。

●消費生活情報メールマガジン
「週刊はまのタスケ・メール」
登録受付中 ※登録料は無料
最新の相談事例やイベントのお知らせなど消費生活情報を毎週お届け！



リサイクルポート山ノ内・コアレックス三栄東京工場施設見学

令和元年7月2日 火 リサイクルポート山ノ内・コアレックス三栄東京工場

今年度の施設見学は、古紙・古布の資源製品化を行っている「リサイクルポート山ノ内」と古紙再生を行っている「コアレックス三栄」東京工場に行ってきました。

「リサイクルポート山ノ内」では、資源集団回収などで回収された古紙や古布を高品質な資源製品に仕上げています。施設内に積み上げられた古紙や古布の山を見ると、リサイクルの大切さが実感できます。

「コアレックス三栄」東京工場では箱詰めされたミックスペーパーを開封することなくそのまま溶解してトイレットペーパーを生産しており、情報漏洩も防ぐという優れものでした。

牛乳パック5枚がトイレットペーパー1ロールになるということで、ここでもリサイクルの大切さが良く分かりました。



講演会②：こうすれば食品ロスが減らせる！～かしこい冷蔵庫収納術を学ぼう～

令和2年1月31日 金 戸塚区総合庁舎8階大会議室

10月7日(月)の食品ロスについての講演会で学んだことを踏まえ、食品ロス削減の手段である冷蔵庫収納術について勉強しました。今回は消費生活推進員だけでなく環境事業推進委員をはじめとした区民の方々と講演を聞きました。

講演では、捨ててしまう食品をなくしていくための冷蔵庫収納術のポイントをいくつも紹介していただきました。ポイントごとのメリットデメリットも教えていただいたので、それぞれの家庭の事情に合わせてどのようにポイントを取り入れられそうか考えることができました。また、食品ロス削減に向けて家庭でできる工夫について参加者同士で意見交換ができ、非常に有意義な時間になりました。



講演会①：食品ロスについて

令和元年10月7日 日 戸塚区総合庁舎3階多目的スペース大



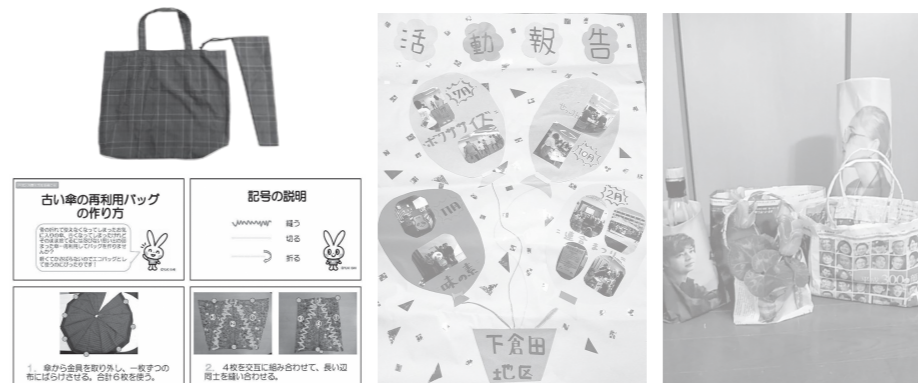
廃棄される手つかず食品が増えています。消費生活推進員の活動の一つに食品ロス削減に向けての啓発活動があります。その勉強のために、担当部署の方に食品ロス発生原因、数量等のポイントを解説していただきました。

推進員の参加者数は60人で、その関心の高さがよくわかります。講師の方の解説が丁寧で、参加者が熱心に聴講している感慨深い講演会でした。

物が豊富で平和な世の中で生活している私たちが気づかされた反省点が多くありました。特に、買い物に出る前に冷蔵庫内の食品数量を確かめることも食品ロス削減の有効な手段の一つになると解説があり、ぜひ実践してみたいと思いました。まずは簡単なことから始めたいものです。

消費生活展《中止》

令和2年2月28日 金・29日 土 戸塚区総合庁舎3階さくらプラザギャラリー



消費生活推進員の一年間の活動報告の場として、各地区毎のパネル展示や古い傘の布を利用したリメイク講習会などの準備を進めていましたが、新型コロナウイルスの影響で今年度の消費生活展は中止となりました。

左の写真は準備した展示内容の一部です。

第43回 戸塚ふれあい区民まつり

令和元年11月3日 日 東戸塚小学校

当日はあいにくの曇り空でしたが、今年もたくさんの区民の方々が来場され、消費生活推進員のテントにも大勢の方々が立ち寄ってくださいました。店内のテーブルには各地区の推進員が手づくりした自慢のリメイク品やアイデアグッズ、エコ小物が所狭しと並べられ、時には「これ、どうやって作ってるの?」とお客さんから質問されるなど大好評のうちに一日を終えました。

また、販売だけでなく、横浜市消費生活総合センターの相談電話番号が書かれたティッシュをテント前で配り、悪質商法への注意を呼びかける啓発活動も行いました。



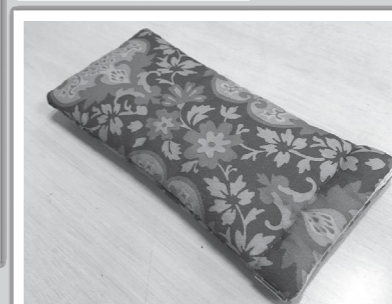
講習会 はぎれを使ったエコ作品づくり

環境に配慮したリサイクルの取組として、はぎれを使ったエコ作品作りの講習会を年数回実施しています。



講習会の様子

9月 ペンケース



1月 あずま袋

